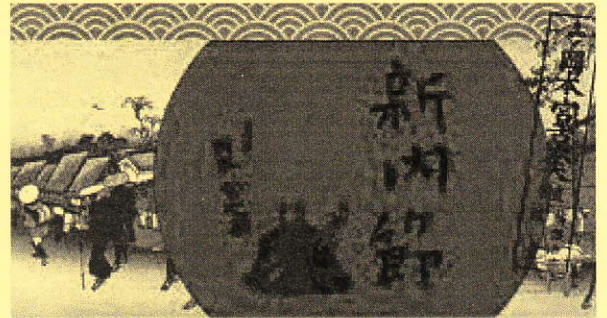


——日本の伝統文化に触れる——

しんない  
「新内公演会」

敬文舎「伝統文化」シリーズ 第一弾！

- 出演 三世 岡本宮之助
- 日時 2015年 4月16日(木)  
午後3時～午後4時30分
- 木戸銭 3,000円(舎人倶楽部会員：2,500円)
- 定員 25名(申し込み順)
- 会場 和亭なにわ 地下(地図参照)



千代田区神田神保町1-34  
☎03-3295-9358

【アクセス】

東京メトロ半蔵門線  
都営新宿線・都営三田線  
「神保町駅」

いずれも A5出口より徒歩5分



新内節とは

鶴賀新内が創始した浄瑠璃の一流派。舞台から離れ、花街などの流しとして発展した。哀調のある節にのせて哀しい女性の人生を歌いあげ、遊里の女性たちに大いに受け、隆盛を極めた。きわめて歌う要素のつよい浄瑠璃で、江戸情緒を代表する庶民的な音楽として知られる。

●お申し込み・お問い合わせ

入場ご希望の方は、①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④参加人数を、電話、FAX またはメールで、敬文舎または「和亭なにわ」までお申し込みください。



株式会社 敬文舎 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3丁目3-23 ファミール西新宿 405  
TEL: 03-6302-0699 FAX: 03-6302-0698  
E-mail: keibun-sha@aria.ocn.ne.jp ホームページ: <http://k-bun.co.jp>



三世 岡本宮之助

岡本派後継者として大叔父、故 岡本文弥、故 五世宮染のもとで修行。邦楽演奏家、故 平井澄子にも師事、薫陶を受ける。岡本派以外では演奏不可能になった多くの浄瑠璃を正しく継承。「演奏しなければ無いも同然」をモットーに、ごまかしの無い演奏=保存に努力する。膨大な文弥作品とともに新内節普及に奮闘中。また岡本派伝統の創作にも積極的に取り組む。創作依頼も多く、作品の評価も高い。演奏会、舞踊会、放送など出演多数。